

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	関西国際大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	カンサイコクサイダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップ I
	学部・研究科等名	人間科学部経営学科
	担当教職員名・役職	松本茂樹・経営学科長、松原茂仁・准教授、齋藤勝洋・講師
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	48
	受入企業等数	6
	受入企業等名	生活協同組合コープこうべ全国高等学校女子硬式野球連盟丹波市復興推進室株式会社大地農園NPO法人未来守りネットワークNPO法人ひょうご農業クラブ
	インターンシップの分類	4.他県をまたぐ広域インターンシップ,5.低学年(大学1年次~2年次程度)からのインターンシップ,7.中小企業でのインターンシップ,8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事,2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	本学の経営学科ではインターンシップに全員参加するカリキュラム設定を行っており、各コースの学びに沿ったインターンシッププログラムを実施している。地域マネジメントコース、フードビジネスコースのインターンシップ I では、2年生のコアカリキュラムとして、地方公共団体や地元企業等で業務に従事しながら、その業務や受入団体に関する課題を発見し、その解決策を検討するプログラムとなっている。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している,5.当該インターンシップは、選択必修科目として実施している,6.当該インターンシップは、選択科目として実施している,7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	経営学科の専門科目であるインターンシップ I は、1年次の「プロジェクトマネジメント(以下PM)演習 I」(学内)、「業界研究実習」(学外)、2年次の「PM演習 II」(学内)を受け、2年次夏学期を中心に実施する。選択必修科目ではあるが、ほぼ全員の学生が履修する。インターンシップ I での学修体験は2年次秋の「PM演習 III」(学内)に引き継がれ、オンキャンパスとオフキャンパスの交差による学びの定着を図っている。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている,2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている,3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている,2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている,3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している,3.その他
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	モニタリング用Webシステム「リフレクションカレッジ」を開発・運用している。学生が入力した日報に対し、教職員及び受入先企業の担当者の双方が即時に確認し、学生へコメントやアドバイスを返している。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	事前学修では、モニタリング用Webシステム「リフレクションカレッジ」を活用し、アセスメントテスト並びにワークシートを活用しインターンシップ実習での自身の目標設定を行うほか、インターンシップ先の情報や業務内容の確認等を行っている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	事後学修では、リフレクションカレッジに蓄積した日報での気づきを確認し、再度アセスメントテストを実施することで自身の能力の伸長度を計っている。さらに、「プロジェクトマネジメント演習 III」の中での「成果報告会」での発表に向け、インターンシップ実習のプレゼンテーションの作成、準備を行っている。

	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	実習期間中のモニタリングは1. 教員、職員によるインターンシップ実習先の訪問と2. モニタリング用Webシステム「リフレクションカレッジ」の活用による。リフレクションカレッジに学生が活動報告を入力すると、教員へ入力完了のメールが配信される。教員は入力内容を確認し、必要に応じてコメント、アドバイスを送ることができる。また、グループへの配信や緊急用のSOSメールの機能もあり、即時の対応が可能となっている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	2.社会で求められる汎用的能力等を客観的に測定するためのテストを用いて、インターンシップの実施前後で回答を求めている。3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	KUIS学修ベンチマークを基としたアセスメントテスト(セルフチェック)を事前学修と事後学修で実施し、能力の伸長を測定している。また、ジェネリックスキル測定テスト「PROG」を毎年秋のリフレクション・デイに実施し、客観的に能力の伸長を測っている。インターンシップの評価はインターンシップルーブリックを用いて、受入企業の担当者と教員がそれぞれ行っており、企業の評価と教員の評価の割合を行っている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実習期間10日間以上
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ期間は最低10日以上を確保しており、プログラムによってはより長期のものもある。また受入企業のプログラムに沿った、報告会や各種イベントもインターンシップ実習の一環として参加している(例:丹波市復興祭シンポジウムへの参加)。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している。4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している。6.企業と協働して、PDCAを実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシッププログラムを策定する際、経営学科教員が受入先企業と何度も話し合い、学生の成長に効果のある業務体験の場を作っている。事前学修や事後学修、報告会の場に企業担当者を招くケースもある。受入企業には教員と同様に実習期間中のモニタリングとインターンシップルーブリックによる評価を担当頂いている。インターンシップルーブリックは受入企業の意見を取り入れ、毎年改修を検討している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://www.kuins.ac.jp/placement/_6302.html
問い合わせ先	大学等名	関西国際大学
	担当部署名	キャリア支援課
	担当者役職名	課長代理
	担当者氏名	藤井 学
	電話番号	0794-84-3508
	メールアドレス	shushoku@kuins.ac.jp